

令和5年度事業報告

1. 概要

(1) 理事の選任について

令和5年度定時総会（6月8日）において、退任理事2名（梅崎重夫氏、富田健介氏）及び新任理事2名（江口純一氏、崔光石氏）とする案が提示され承認された。他の理事は留任となったので、理事数は20名のままである。

(2) 業務の実施

「令和5年度事業計画」に基づいて、次の事業を実施した。

- ・登録個別・型式検定機関として認められている13品目の機械器具の検定
- ・登録適合性証明機関としての機能安全証明業務
- ・化学物質、静電気、機械器具、呼吸用保護具・防護服等の性能試験の実施
- ・爆発危険箇所（ゾーン）設定に係る指導及び認証業務
- ・安全衛生に係る調査・研究・リスクアセスメント業務
- ・IECEXシステムの認証及び試験の実施
- ・防爆機器等の海外での認証取得等に係る申請代行等の技術支援
- ・委託事業に対する積極的公募及び受託した事業の計画的実施
- ・安全衛生に関する知識の普及・技術の向上のための講習会の開催及び資料の頒布
- ・公益社団法人としての産業安全衛生活動（広報・支援等）

特記事項は以下のとおりである。

- ① 防爆機器の検定申請件数は、昨年度大量申請のあった特定の1社からの申請件数が半減したことから前年度比45.6%の減となった。
- ② 厚生労働省が令和5年度の委託事業として公募した2件の買取試験事業（呼吸用保護具及び墜落制止用器具）を受託し、報告書を納品して終了した。
- ③ 買取試験事業の他に、厚生労働省から個人防護具関係の調査研究事業等を3件受託し、報告書を納品して終了した。

(3) 定款の見直し

合板仮設材安全技術協会及び産業安全コンサルタント協会の業務移管、新規事業の実施のための定款の改正、また、役員報酬等支給基準見直しのため、臨時理事会（9月）と臨時総会（10月）を開催し、それぞれ承認された。

(4) 組織・体制等の見直し

試験認証部に技術職員1名（4月）、安全技術部に技術職員1名（9月）を採用した。また、試験認証部の技術職員2名（うち1名は在宅職員）が退職した（3月）。

(5) 安定的運営のための財務体制整備

検定業務への過度の依存体制を是正するため、リスクアセスメント、委託事業、技術支援、IECEX認証などの事業収入増加に取り組んでおり、呼吸用保護具については、フィットテストの事業を開始した。

(6) その他

「2021中期目標」に従って業務の電子化として、社内サーバーをクラウドに移

行した。これにより、社内サーバーは撤去した。

2. 会議等

理事会、定時総会、臨時理事会及び臨時総会を以下のとおり実施した。第3回理事会において取り下げられた第4号議案(特定費用準備資金の新設(案)について)は、修正し、第4回理事会において、第5号議案(新たな資産取得資金の積立及び支出計画について(案))で承認された。また、第4回理事会で取り下げられた第7号議案(TIIS認証の委員会審議事項について)も修正し、第2回臨時理事会において「(1) TIIS 認証管理委員会報告書の提出について」の報告事項として報告がなされ異議はなかった。結果、令和5年度に提出した議案は、いずれも承認された。

(1) 令和5年度第1回理事会(令和5年5月19日:KKRホテル東京及びWeb会議併用)

- ・出席理事数(15名)
山隈瑞樹 村川勉 矢座正昭 小金実成 梅崎重夫 柿沼武幸
小松克行 鹿倉智明 谷澤和彦 豊澤康男 成澤平 松村不二夫
三須肇 三浦安史 宮崎浩一
- ・欠席理事数(5名)
尾崎智 神田正之 富田健介 中川敬広 藤井信孝
- ・出席監事数(1名) 太郎良讓二
- ・欠席監事数(1名) 永島公孝
- ・議案
第1号議案 令和4年度事業報告(案)について
第2号議案 令和4年度決算報告(案)について
第3号議案 役員候補者の選任(案)について
第4号議案 会員の異動状況について(案)

(2) 令和5年度定時総会(令和5年6月8日:KKRホテル東京)

- ・出席会員数175名(内会場参加41名、委任状提出40名、議決権行使94名)(会員総数305名)
- ・出席理事数(18名)
山隈瑞樹 村川勉 矢座正昭 小金実成 梅崎重夫 尾崎智
柿沼武幸 神田正之 小松克行 鹿倉智明 谷澤和彦 富田健介
豊澤康男 成澤平 藤井信孝 松村不二夫 三浦安史 三須肇
- ・欠席理事数(2名)
中川敬広 宮崎浩一
- ・出席監事数(2名) 太郎良讓二 永島公孝
- ・議案
第1号議案 令和4年度事業報告承認の件
第2号議案 令和4年度決算報告承認の件
第3号議案 役員選任の件
- ・報告事項
①令和5年度事業計画
②令和5年度収支予算書

③資金調達及び設備投資の見込みについて

(3) 令和5年度臨時理事会(令和5年9月12日:協会会議室及びWeb会議併用)

- ・出席理事数(16名)
山隈瑞樹 矢座正昭 小金実成 江口純一 尾崎智 神田正之
小松克行 谷澤和彦 豊澤康男 中川敬広 成澤平 藤井信孝
松村不二夫 三浦安史 三須肇 宮崎浩一
- ・欠席理事数(4名)
村川勉 柿沼武幸 鹿倉智明 崔光石
- ・出席監事数(1名) 松原美之
- ・欠席監事数(1名) 永島公孝
- ・議案
第1号議案 定款変更(案)について
第2号議案 役員報酬等支給基準変更(案)について
第3号議案 臨時総会の招集及び開催について
- ・報告事項
①変更届の状況について報告

(4) 令和5年度臨時総会(令和5年10月11日:協会会議室)

- ・出席会員数210名(内会場参加5名、委任状提出39名、議決権行使166名)(会員総数303名)
- ・出席理事数(7名)
山隈瑞樹 小金実成 柿沼武幸 神田正之 鹿倉智明 江口純一
三須肇
- ・欠席理事数(13)
村川勉 矢座正昭 尾崎智 小松克行 谷澤和彦 崔光石
豊澤康男 中川敬広 成澤平 藤井信孝 松村不二夫 三浦安史
宮崎浩一
- ・出席監事数(2名) 永島公孝 松原美之
- ・議案
第1号議案 定款変更(案)について
第2号議案 役員報酬等支給基準変更(案)について

(5) 令和5年度第3回理事会(令和5年10月20日:Web会議)

- ・出席理事数(18名)
山隈瑞樹 村川勉 矢座正昭 小金実成 尾崎智 柿沼武幸
神田正之 小松克行 鹿倉智明 谷澤和彦 崔光石 中川敬広
成澤平 藤井信孝 松村不二夫 三浦安史 三須肇 宮崎浩一
- ・欠席理事数(2名)
江口純一 豊澤康男
- ・出席監事数(2名) 永島公孝 松原美之
- ・議案
第1号議案 会長及び常務理事の職務執行状況の報告
第2号議案 TIIS 認証規程(案)について
第3号議案 TIIS 認証管理委員会委員の選任について

- 第 4 号議案 特定費用準備資金の新設（案）について
- 第 5 号議案 常勤役員の報酬総額及び月額報酬（案）について
- ・報告事項
 - ①会員の異動状況について

(6) 令和 5 年度第 4 回理事会（令和 6 年 3 月 6 日：KKR ホテル東京及び Web 会議併用）

- ・出席理事数（16 名）
 - 山隈瑞樹 村川勉 矢座正昭 小金実成 江口純一 尾崎智
 - 柿沼武幸 神田正之 小松克行 鹿倉智明 谷澤和彦 崔光石
 - 豊澤康男 成澤平 藤井信孝 三浦安史
- ・欠席理事数（4 名）
 - 中川敬広 松村不二夫 三須肇 宮崎浩一
- ・出席監事数（2 名）永島公孝 松原美之
- ・議案
 - 第 1 号議案 会長及び常務理事の職務執行状況の報告
 - 第 2 号議案 令和 5 年度収支予算書の補正について
 - 第 3 号議案 令和 6 年度事業計画（案）
 - 第 4 号議案 令和 6 年度収支予算書（案）
 - 第 5 号議案 新たな資産取得資金の積立及び支出計画について（案）
 - 第 6 号議案 資金調達及び設備投資の見込み（案）について
 - 第 7 号議案 TIIS 認証の委員会審議事項について
- ・報告事項
 - ①令和 5 年度顧客満足度調査結果について
 - ②会員の異動状況について
 - ③防爆 G 分室について

(7) 令和 5 年度第 2 回臨時理事会（令和 6 年 3 月 29 日：Web 会議）

- ・出席理事数（14 名）
 - 山隈瑞樹 矢座正昭 小金実成 江口純一 尾崎智 柿沼武幸
 - 神田正之 小松克行 鹿倉智明 谷澤和彦 崔光石 中川敬広
 - 成澤平 松村不二夫 三須肇
- ・欠席理事数（6 名）
 - 村川勉 豊澤康男 藤井信孝 三浦安史 宮崎浩一
- ・出席監事数（1 名）松原美之
- ・欠席幹事数（1 名）永島公孝
- ・報告事項
 - ①TIIS 認証管理委員会報告書の提出について
 - ②試験等施設整備引当資産の執行状況について
 - ③内閣府立入検査の指摘事項について
 - ・令和 6 年度事業計画（修正）
 - ・令和 6 年度収支予算書（修正）

3. 業務の実施状況

(1) 検定・試験等

① 新規及び更新検定

厚生労働省の登録個別・型式検定機関として、労働安全衛生法第 44 条（個別検定）及び第 44 条の 2（型式検定）に基づき、表 1 に示す品目の検定を実施した。令和 5 年度の新規検定受付件数（所在地審査を含む）は 1,173 件（前年度 1,941 件）で、39.6%減となった。更新検定受付件数は、4,681 件（前年度 4,714 件）で、0.7%減であった。また、金額ベースでは、新規検定、更新検定、記載事項変更、再交付及び是正処置手数料を合わせた検定手数料の合計は約 3 億 6 千 9 十万円（前年度約 4 億 9 千 9 百万円）で、前年度比 74%となった。

表 1 検定品目別受付件数

検定品目	新規検定	更新検定
防爆機器	967	4,007
プレス機械又はシャアの安全装置	11	42
ゴム等を練るロール機の(機械的)急停止装置	18	1
木材加工用丸のこ盤の歯の接触予防装置	5	15
交流アーク溶接機用自動電撃防止装置	0	2
絶縁用保護具	13	87
絶縁用防具	12	51
保護帽	66	358
動力プレス	1	9
防じんマスク	32	35
防毒マスク	12	68
電動ファン付き呼吸用保護具	10	6
所在地審査	11	
型式検定小計	1,158	4,681
ゴム等を練るロール機の(電氣的)急停止装置	15	
合 計	1,173	4,681

② 機械等安全認定試験等

令和 5 年度は、安全認定試験の新規認定はなく、全て更新認定となっている。認定件数は 15 件であり、前年度（6 件）から増加した（表 2-1）。また、認証書を発行したものは表 2-2 のとおり、0 件（前年度 0 件）であった。

表 2-1 安全認定試験品目別受付件数

試験品目	更新認定
爆発性雰囲気で使用する接続箱	10
安全帯	0
乾式安全器	5
その他	0
合 計	15

表 2-2 認証書発行件数

試験品目	認証書発行
といし	0
モーター	0
乾式安全器	0
その他	0
合 計	0

③ 危険性評価・安全性能試験

当協会の依頼試験・技術相談・認証規程に基づき、表 3 に示す種目の危険性評価試験・安全性能試験を実施した。令和 5 年度の試験件数は 442 件であった。

表 3 危険性評価・安全性能試験件数

試験種目	試験件数
化学物質の危険性評価	175
静電気帯電防止性能・導電率	48
研削といしの安全性能	8
安全靴の性能	0
プロテクティブスニーカーの性能	3
墜落制止用器具の性能	206
墜落制止用器具以外機械器具の性能	19
防じん・防毒マスク・電動ファン付き呼吸用保護具の性能	64
化学防護服の漏れ率性能	7
フィットテスト	27
その他	18
合 計	442

④ 技術指導、リスクアセスメント、災害調査協力

技術指導、リスクアセスメント及び災害調査協力は、14 件（前年度 37 件）であった。

⑤ 技術支援

技術支援は、技術相談、国内検定申請支援及び海外認証取得支援であり、62 件（前年度 61 件）であった（表 4）。

表 4 技術支援受付件数

品目	件数
技術相談	41
国内検定支援	13
海外認証取得支援	8
合 計	62

⑥ 工場監査

工場監査は、海外の認証機関との相互協力協定 (MoU) に基づき実施しているもので、令和 5 年度は 13 件 (前年度 23 件) であった。

⑦ 試験結果書等の発行

試験結果書 (型式検定の試験結果をレポートにまとめたもの)、構造規格適合証明書、合格証誤記訂正、合格書類 (合格図面、立会試験結果等) のコピーの発行は、令和 5 年度の発行件数は 19 件であった (表 5)。

表 5 試験結果書等の発行件数

品目	件数
試験結果書	2
構造規格適合証明書	0
合格証誤記訂正	5
合格書類のコピー	12
合 計	19

⑧ 英文合格証の発行

英文合格証 (型式検定合格証の英語版) 発行件数は 49 件 (前年度 27 件) であった。

⑨ IECEx システム

IECEx システムの機器認証スキームの認証業務における令和 5 年度の証明書の発行数は 52 件 (前年度 61 件) であった (表 6)。

表 6 IECEx システム証明書発行数

証明書の種別	件数
IECEx CoC (適合証)	17
ExTR (試験報告書)	23
QAR (品質評価報告書)	12
合 計	52

試験・認証活動の適切な実施を図るための認証管理委員会については、令和 5 年 4 月に委員会を開催 (Web 会議) した。また、ISO9001、ISO/IEC 17025 及び ISO/IEC 17065 に関連するリスク委員会については、令和 5 年度は 1 回 (令和 6 年 3 月) 開催し、リスクの特定及び対応を行った。

(2) 委託事業

厚生労働省から以下に示す 5 件の事業を受託した。

① 「呼吸用保護具の性能確保のための買取試験事業」 (委託期間: 令和 5 年 4 月 3 日～令和 6 年 3 月 15 日)

市場に流通する防じんマスク、防毒マスク及び電動ファン付呼吸用保護具 (PAPR) を買い取って試験を行うものである。令和 5 年度は、防じんマスク 25 型式 (前年度 20 型式)、防毒マスク 25 型式 (前年度 30 型式)、PAPR 10 型式

(前年度 10 型式) を選定し試験等を実施した。評価委員会を 2 回開催した。期限までに報告書を納品し終了した。

② 「個人防護具の性能検査等調査事業一式」(契約期間：令和 6 年 3 月 29 日まで)

国が備蓄した個人用防護具(PPE)に関して性能検査等を行うものである。N95・DS2 規格マスク 16 型式、非滅菌手袋 33 型式、及びアイソレーションガウン・サージカルガウン 20 型式の検査を行った。医療用個人防護具に関する研究班会議を 3 月までに合計 6 回実施した。期限までに報告書を納品し終了した。

③ 「N95 等マスクのフィットテスト業務一式」

国が調達する N95 及び DS2 マスクのサンプルについてフィットファクターを測定するものである。2 型式について 10 人分のフィットテストを実施した。4 月、及び 5 月に測定を実施して終了した。

④ 「アイソレーションガウン性能検査等一式」

国が調達するアイソレーションガウンのサンプルについてフィットテスト及び撥水性検査を実施するものである。37 社 41 型式の製品について検査を実施した。5 月に検査を実施して終了した。

⑤ 「構造規格適合が義務付けられている機械等の買取試験事業」(契約期間：令和 5 年 8 月 21 日～令和 6 年 1 月 26 日)

市場に流通する墜落制止用器具を買い取り、試験を行って規定の性能等を有するかを検証した。買取の型式数は、フルハーネス型墜落制止用器具を 40 型式、胴ベルト型墜落制止用器具を 10 型式、合計 50 型式を選定し試験を行なった。買取事業評価委員会は、2 回実施した。買取試験の結果、フルハーネス型墜落制止用器具で 14 型式、胴ベルト型墜落制止用器具で 5 型式の不適合が発見された。期限までに報告書を納品し終了した。

(3) 講座・安全資料・安全技術情報

① 講習会

令和 5 年度は、昨年度に引き続き Web 配信により講習会を実施しており、3 月末までに配信した講習会とその受講数は以下のとおりである。

- ・ 防爆電気機器 Basic コース：35 (前年度 60)
- ・ 防爆電気機器 Skill-up コース：17 (前年度 18)
- ・ 学ぶ動画 (防爆電気機器の個別試験)：49 (前年度 6)
- ・ 防爆指針 2020 の概要：2 (前年度 5)
- ・ 爆発火災講習会：3 (前年度 10)

また、令和 5 年 6 月からフィットテスト実施者養成講座を実施しており、1 週間の Web による学科教育と会場における実技講習を行なっている。

- ・ フィットテスト実施者養成講座 第 1～7 回：74

② 書籍等の頒布

安全衛生技術の普及を目的に、当協会が発行した書籍及び(独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所が作成した技術資料の広報及び頒布を行った。頒布総数は、507冊（前年度 820冊）であった。

③ 安全衛生技術情報の提供

当協会の事業の紹介、安全衛生技術情報を広く社会に提供するため、ホームページ、THIS ニュース、メールマガジン等により情報の発信を行った。そのほか、当協会のホームページを通じて関連する情報を随時発信した。

- ・ THIS ニュースの発行（年 4 回：4 月、7 月、10 月及び 1 月）
- ・ メールマガジンの発行（年 8 回）

なお、THIS ニュースの発行部数は 550 部（前年度 550 部）であり、会員、関係官公庁等に配布するほかホームページでも閲覧可能としている。また、メールマガジンの配信数は 660（前年度 791）であった。

（4）相談

令和 5 年度から相談は、広報・OA 推進室から事業企画部の所掌となり、無料相談すべてを集計する方法に改めた。無料相談件数は、総数 1,052 件となった。

（5）調査・資料収集

① 委員会活動

安全衛生関係機関、団体等が主催する委員会に当協会の役職員を派遣し、その専門的知識経験等を生かして規格の改正の審議、調査等に協力した。その主なものは次のとおりである。

表 7 委員会活動等への協力

委員会名	協力団体等	協力事項等
工場電気設備防爆指針改正委員会	(独)労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所	IEC 規格に整合した防爆指針を作成する。
直流機及び高圧電動機の電動機仕様作成プラクティスの JEC-TR 起草調査専門委員会	(一社)電気学会	直流及び高圧電動機の電動機仕様作成プロセスに展開し、JEC 化を念頭に、推奨プラクティスの JEC-TR を作成する委員会。
IEC/CAB 対応委員会	IEC 活動推進会議	IEC/CAB の審議課題に対するわが国の対応の審議
IEC 上層委員会	IEC 活動推進会議	IEC の各種委員会への対応について検討する委員会
IEC/TC31 国内審議委員会	(一社)日本電機工業会	爆発性雰囲気で使用する電気機械器具 JIS 原案の審議
IEC/TC70 国内審議委員会	(一社)日本電機工業会	外郭による電子機器等の保護等級に関する審議、JIS 原案作成等

ISO/TC199 部会	(一社)日本機械工業連合 会	基本安全規格(タイプA規格) の作成及び改定作業、グル ープ安全規格(タイプB規格) の作成・改定及び翻訳 JIS 作成
ISO/TC199/WG7	(一社)日本機械工業連合 会	ISO 14119 の改正
ISO/TC199/WG8	(一社)日本機械工業連合 会	ISO 13849-1 の改正
プロテクティブスニー カー規格改定原案作成 委員会	(公社)日本保安用品協会	プロテクティブスニーカー 規格の改定原案作成
ISO 国内対策特別委員 会ほか	日本呼吸用保護具工業会	呼吸用保護具の普及活動、 JIS と ISO 規格との整合化 の検討等
ISO/TC39/SC10/WG1 対策委員会	(一社)日本鍛圧機械工業 会	ISO 16029 ベースの JIS 原 案作成
粉じん爆発委員会	(一社)日本粉体工業技術 協会	研修等の企画・実施、試験 方法の検討、リスクアセス メントの検討等。粉じん爆 発関係 JIS 規格原案作成。
IEC TC101 国内審議委 員会	(一財)日本電子部品信頼 性センター	国際規格の審議、JIS 規格 の改正
JIS C 61340 4-4 (FIBC) JIS 原案作成 委員会	(一財) 日本電子部品信 頼性センター	帯電防止フレキシブルコン テナの JIS 規格原案作成。
安全衛生・環境委員会	(一社)日本溶接協会	溶接作業及び環境の安全衛 生に関する調査・検討
医療用衛生マスクに関 する JIS 原案作成委員 会	(一社)日本衛生材料工業 連合会	医療用衛生マスクに関する JIS 原案作成
送気マスク JIS T 8153 原案作成委員会	日本呼吸用保護具工業会	JIS T 8153 の更新原案の策 定
日本呼吸用保護具工業 会技術委員会及び ISO 国内対策特別委員会	日本呼吸用保護具工業会	JIS 改正案・フィットテス トマニュアル等の技術的検 討、SWPF 試験の検討、 ISO 規格の進捗状況確認
PPE の備蓄・供給・使 用に関する調査委員会	厚生労働省	PPE の備蓄・供給・使用に 関する調査
JIS B 9719	(一社)日本機械工業連合 会	JIS B 9719 の改正
ISO/TC94/SC14 国内 審議委員会	(一社)日本消防服装・装 備協会	ISO 11999 の改正

② IECEx システム

IECEx システム国内審議委員会事務局として、IECEx システムから提案された審議課題について、メール等の手段によって日本国内の意見・要望等を取りまとめ、日本産業標準調査会（JISC）を通して回答した（随時）。年次総会は、スコットランド（エジンバラ）で4年ぶりに対面で開催（9月18日～9月22日）され、当協会から関係職員が参加した。また、水素関連のワーキンググループに役職員2名を派遣した。

③ IEC の技術委員会

IEC 規格を検討する技術委員会（TC31、防爆機器）のメンテナンスチームとワーキンググループについて、米国（ニューヨーク）にて開催（10月30日～11月8日）された2023 IEC/TC31 年次会合にエキスパートとして役職員計4名を派遣した。

④（株）PRCと共催で、安全教育研究会（6月16日、大阪、参加11名）及び労働衛生研究会（9月19日、大阪、参加20名）を開催した。

4. その他の活動

（1）意見交換会及び顧客満足度調査の実施

当協会の検定試験部門（検定部、試験認証部及びQMS・監査室）では、検定業務の円滑な実施を図るため、検定に関連のある工業会との意見交換会を前年度に引き続き実施した。

アンケート調査については、検定業務及び技術支援業務（性能及び評価試験、技術相談及び支援、適合性評価及び認証申請支援、工場監査、IECEx 並びに講座・講習会）についての顧客満足度調査を検定申請者又は技術支援サービスの利用者（企業）を対象に実施した。調査は検定業務については業務終了時に、また、技術支援業務については令和5年12月に実施した。調査結果は、品質マネジメントシステムのマネジメントレビューインプット情報の一つとして検定関係業務及び技術支援関係業務の改善に活用した。

（2）TIIS ニュース外部編集委員会の開催

TIIS ニュースの内容充実を図るため、外部の専門家（4名）からなる編集委員会を令和6年1月10日に開催した（年1回開催）。同会議では、次年度以降の技術記事（基礎講座等）のテーマ及び構成について助言をいただいた。

（3）TIIS 認証

令和6年度から開始予定のTIIS 認証（防爆機器、乾式安全器、合板足場板）について、実施細則の制定及び関係業界への説明を行うとともに、TIIS 認証管理委員会の設置し、認証品目の実施細則等を審議した。

5. 会員の動向

当協会の会員の入会状況は次のとおりである（表8）。会員数は、ここ数年、減少の傾向にあるが、引き続き無料技術相談等の推進、TIIS ニュースの内容の充実、割引などの会員特典の拡大等、会員への一層のサービス向上に努めている。

表 8 会員数と口数の推移

区分	令和 5 年度		令和 4 年度	
	会員数	口数	会員数	口数
年度当初	306	332	310	337
退会	-5	-5	-5	-6
口数変更	0	0	0	0
入会	1	1	1	1
当該年度末	302	328	306	332

以上

事業報告の附属明細書

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。